

公益社団法人北海道倶楽部の下記講演会の申込書です。

講演会の案内は下の枠内にあります。ご一読頂き、申込み場合は、このファイルをダウンロードし、ダウンロードしたファイルの上の枠内に必要事項を記入もしくは（インプット）のうえメールに添付するかFAXで返信してください。

お問い合わせは公益社団法人北海道倶楽部までメールもしくはFAX下さい。

公益社団法人北海道倶楽部 講演会申込書

記入してファイルをメールに添付

hkkd-clb@soleil.ocn.ne.jp

記入してFAX

FAX 03-3581-4022

以下の通り、講演会の申込をします。

※申込者のお名前（必須）

（グループの場合は代表者）

所属企業・部署・役職

同行者のお名前

所属企業・部署・役職

1

2

3

※申込者の住所（必須）

郵便番号

000-0000

住所 *法人の場合は法人名、部署も記入してください。

※申込者の電話番号（必須）

☆1申込者のFAX番号

☆2申込者のe-mail（メールで申し込んだ場合は当該アドレスに返信しますので記入不要です。）

← →
(返信の為に ☆1、☆2 どちらか一方は必須です。)

講演会

○演題：北海道のために～日立北大ラボの活動について

○講師：吉野 正則先生（株）日立製作所 基礎研究センター シニアプロジェクトマネージャー

北海道大学 特任教授 産学・地域協働推進機構 社会・地域創発本部 本部長

略歴 北海道 佐呂間生まれ（1957年）

1980年 日立製作所 入社、アメリカ駐在を経て、Audio/Visual の商品企画、マーケティング、事業企画を担当。インフラ、ヘルスケア等の新事業創出事業を推進。

2015年から、文部科学省/JSTの北海道大学COI『食と健康の達人』拠点長、2016年日立北大ラボ 初代ラボ長、2021年からCOI-NEXT（共創の場）で「こことカラダのライフデザイン」プロジェクトリーダー。若者が”他者（ひと）とともに、自分らしくいきる社会”の実現を、学生、若者とともに創っていくことを目標としている。ヘルスリテラシーとジェンダー意識の低い日本で、プレコンセプションケアを自分事のできる研究開発、社会実装、人材育成をめざしている。

2022年4月より 北海道大学 社会・地域創発本部 本部長を兼務し、北大全体のオープンイノベーション事業を担当する。

日立北大ラボ 2016年に、北海道大学に日立基礎研究センターの外部ラボとして設立

Visionを「共生のまちづくり」として、

北海道の社会課題解決をめざして、少子化、高齢社会の健康なまちづくり、食、農業等の新産業創出を、大学、自治体、地元企業・機関と連携し推進している。

●日時：2022年10月21日（金）15時～16時 14時45分ころから入場出来ます。

会議室では14時45分ころまで理事会・評議員会合同会議を行っております。

14時45分ころから「道庁からのお知らせ」があります。

（15時前には並行して講演会のためのプロジェクターの設置作業を行っております。）

●場所：アイオス永田町会議室（倶楽部事務所の2階 東京都千代田区永田町2-17-17）

●申込方法：先着順申込締切：10月17日（月）

広くどなたでもこの申込用紙で申し込めます。参加費用は無料です。

お申し込みが多数の場合は先着順で締切ます。申込者には参加の可否を返信します。グループでのお申込の場合、返信先などすべて代表者あてにご連絡します。